

高梨豊 Yutaka TAKANASHI

- 1935 東京都牛込区（現新宿区）生まれ
- 1957 日本大学芸術学部写真学科卒業
- 1961 桑沢デザイン研究所リビングデザイン科（夜間）卒業
- 1961-70 日本デザインセンター在籍
東京都在住

個展

- 2016 「Yutaka Takanashi」 Artist Room 8、Tate Modern（ロンドン、イギリス）
- 2015 「ニッチ東京」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）[カタログ]
- 2013 「アクア ツリー」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京）
- 2012 「Yutaka Takanashi」 アンリ・カルティエ=ブレッソン財団（パリ、フランス）[カタログ]
- 2011 「Last Sien'-e(for Last Sien')」 photographers' gallery（東京）
- 2009 「高梨豊 光のフィールドノート」 東京国立近代美術館（東京）[カタログ]
- 2007 「囲市 かこいまち」 キヤノンギャラリーS（東京）
- 2006 「初國」 東京工芸大学写大ギャラリー（東京）
- 2004 「NOSTALGHIA」 photographers' gallery（東京）
- 2003 「我らの獲物は一滴の光」 photographers' gallery（東京）[カタログ]
 「高梨豊写真展 WIND SCAPE」 勝央美術文学館（岡山）

- 2002 「WINDSCAPE - 車窓から」 ビジュアルアーツギャラリー (大阪)
- 2000 「interlude」 中京大学アートギャラリーC・スクエア (愛知)
「東京造形大学退職記念写真講座展 高梨豊『写真、人によって』」 東京造形大学横山記念マン
ズー美術館 (東京) [カタログ]
「地名論 genius loci, TOKYO」 コニカプラザ (東京)
- 1999 「高梨豊ギャラリー」 キヤノン幕張ワンダーミュージアム (千葉)
- 1996 「疾駆する写真家 高梨豊<方法論>の彼方へ、展」 ガーディアンガーデン (東京) [カタログ]
- 1995 シリーズ展「東京・銀座三代記 長野重一・高梨豊・金村修」 ギャラリー・アートグラフ (東京)
- 1992 「初國 pre-landscape」 ミノルタフォトスペース (東京)
- 1989 「都市へ・から展」 Frog (東京) [カタログ]
- 1988 「都の貌 1986~1988」 INAX ギャラリー 2 (東京) [カタログ]
「それぞれの街」 世田谷美術館ライブラリー前ギャラリー (東京)
「マガジーン」 銀座キヤノンサロン (東京)
- 1986 「人像II」 ミノルタフォトスペース (東京)
「Tokyo- J in 1978-1983」 Espace Japon (パリ、フランス)
- 1982 「東京人 1978-1982」 オリジナルギャラリー (東京)
- 1979 「人像」 ミノルタフォトスペース (大阪)
- 1978 「町」 ミノルタフォトスペース (東京)
- 1974 「天使紀行」 和光 (東京)
- 1962 「標的」 銀座画廊 (東京)

1960 「SOMETHIN' ELSE」銀座画廊（東京）

グループ展

2022 「Earth: A Retrospective」 Bombas Gens Centre d'Art（バレンシア、スペイン）

2021 「Past and Present – Positionen japanischer Fotografie」 Mönchehaus Museum Goslar、（ゴスラー、ドイツ） [カタログ]

2020 「OUR DUTY IS TO EXPERIMENT – 20 years Galerie PRISKA PASQUER」 Priska Pasquer Gallery（ケルン、ドイツ）

2019 「The Gaze of Things. Japanese Photography in the Context of Provoke」 Bombas Gens Centre d'Art（バレンシア、スペイン、2019年2月22日–2020年2月2日） [カタログ]; その後 Círculo de Bellas Artes（マドリッド、スペイン、2020年7月3日–8月30日）へ巡回
「Parergon: Japanese Art of the 1980s and 1990s」 BLUM & POE（ロサンゼルス、カリフォルニア州、アメリカ）

2018 「清里フォトアートミュージアム収蔵作品展「原点を、永遠に。—2018—」」東京都写真美術館（東京）
「東京スケイプ Into the City」世田谷美術館（東京）

2017 「大辻清司・高梨豊 —写真の「実験室」と「方法論」—」東京造形大学附属美術館（東京）

2016 「総合開館 20 周年記念 TOP コレクション 東京・TOKYO」東京都写真美術館（東京） [カタログ]
「Japanese Photography from Postwar to Now」サンフランシスコ現代美術館（サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ）
高梨豊「Yutaka Takanashi: Towards the City」Tate Modern、Level 4 East Room 8（ロンドン、イギリス）

2016-17 「Provoke – Photography in Japan between Protest and Performance, 1960-75」Albentina（ウィーン、オーストリア、1月29日 – 5月5日）; その後 Fotomuseum Winterthur（ヴィンタートゥール、スイス、5月28日 – 8月28日）; Le Bal（パリ、フランス、9月14日 – 12月11日）; シカゴ美術館（シカゴ、イリノイ州、アメリカ、2017年1月28日 – 4月30日）へ巡回 [カタログ]

グ]

- 2015-16 「For a New World to Come: Experiments in Japanese Art and Photography, 1968-1979」 The Museum of Fine Art, Huston (ヒューストン、テキサス州、アメリカ、3月6日 - 7月11日); その後 The Grey Art Gallery (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ、9月11日 - 12月5日); ジャパン・ソサエティー・ギャラリー (ニューヨーク、ニューヨーク州、アメリカ、10月9日 - 2016年1月10日) へ巡回 [カタログ]
- 2007 「ライカ同盟展 博多山盛り」 ギャラリー58 (東京)
- 2006 「ばらばらになった身体」 東京国立近代美術館 (東京) [カタログ]
「ライカ同盟展 エンドレス名古屋」 中京大学アートギャラリーC・スクエア (愛知)
- 2005 「ウナセラ・ディ・トーキョー ANOHIANOTOKIO - 残像の東京物語 1935~1992」 世田谷美術館 (東京) [カタログ]
「ICANOF メディアアートショー第5回 メガネウラ MEGANEURA」 八戸市美術館 (青森)
- 2004-05 「封印された星 瀧口修造と日本のアーティストたち」 中京大学アートギャラリーC・スクエア (愛知) [カタログ]
- 2004 「ライカ同盟 ラ・徘徊/エ都セトラ」 中京大学アートギャラリーC・スクエア (愛知)
- 2003 「ライカ同盟 ラ・徘徊 東京編」 武蔵野美術大学美術資料図書館展示室 (東京)
- 2002 「ライカ同盟展 東京涸井戸鏡(カレイドスコープ)」 中京大学アートギャラリーC・スクエア (愛知)
- 2001 「ライカ同盟写真展 [博多来襲]」 三菱地所アルティウム (福岡)
- 2000 「ライカ同盟 パリ開放」 中京大学アートギャラリーC・スクエア (愛知)
- 1999 「ライカ同盟 旧京橋区ライカ町展」 INAX ギャラリー 2 (東京)
「写真再発見」 東京国立近代美術館フィルムセンター展示室 (東京)
「大辻清司と15人の写真家たち」 東京造形大学横山記念マンズー美術館 (東京)

- 1998 「ライカ同盟 三重視」三重県立美術館（三重、4月11日 - 5月17日）；その後中京大学アートギャラリーC・スクエア（愛知、6月18日 - 7月11日）に巡回
- 1996 「日本の写真 内なるかたち・外なるかたち 第2部 戦後写真の変容」東京都写真美術館（東京）[カタログ]
「写された人間像」東京国立近代美術館フィルムセンター展示室（東京）
「高梨豊・赤瀬川原平・秋山祐徳太子 ライカ同盟名古屋を撮る」中京大学アートギャラリーC・スクエア（愛知）[カタログ]
「ライカ同盟 本朝ヨリガスミ之展」コニカプラザ（東京）
- 1995 「住んでみたい街」ガーディアンガーデン（東京）
「東京国立近代美術館と写真 1953-1995」展 東京国立近代美術館フィルムセンター展示室（東京）
「戦後文化の軌跡 1945-1995」目黒区美術館（東京、4月19日 - 6月4日）；その後広島市現代美術館（広島、6月14日 - 7月21日）；兵庫県立美術館（兵庫、8月15日 - 9月24日）；福岡県立美術館（福岡、10月8日 - 11月5日）に巡回 [カタログ]
- 1994 「ライカ同盟発表会」牧神画廊（東京）
- 1992 「写真家はなにを表現したか 1960~1980」コニカプラザ（東京）[カタログ]
- 1990 「東京 都市の視線」東京都写真美術館（東京）[カタログ]
「東京~TOKYO 展」有楽町西武B館4階有楽町アート・フォーラム（東京）
- 1989 「11人の1965~75 日本の写真は変えられたか」山口県立美術館（山口）[カタログ]
- 1985 「パリ・ニューヨーク・東京」つくば写真美術館'85（茨城）；その後宮城県立美術館（宮城、11月9日 - 12月22日）に巡回 [カタログ]
- 1978 「フォトキナ '78」（ケルン、ドイツ）
- 1977 「目・カメラ・現実 11人のイタリア写真家と11人の日本人写真家」イタリア文化会館（東京）[カタログ]
- 1976 「Neue Fotografie Aus Japan」Kunsthau Graz（グラーツ、オーストリア）；その後 the Municipal Museum of Austria（オーストリア）；Staatsgalerie Stuttgart（シュトゥットガルト、ドイツ）に巡回 [カタログ]

- 1974 「15人の写真家」 東京国立現代美術館（東京）[カタログ]
- 1971 「第10回日本現代美術展」 東京都美術館（東京）[カタログ]
- 1970 「現代写真家「おんな」23人展」 東武百貨店（東京）
- 1966 「現代写真の10人」 国立近代美術館（東京）[カタログ]
- 1959 「新写真派協会展」 富士フォトサロン（東京）

出版物

作品集（個人作品）

- 『ニッチ東京』タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム、2015年
- 『IN』新宿書房、2011年
- 『囲市』クレオ、2007年
- 『NOSTALGHIA ノスタルジア』平凡社、2004年（小型写真集『windscape』を綴じ込み）
- 『我らの獲物は一滴の光』Photographer's Gallery、2003年
- 『ライカ同盟』東京カレイドスコープ、2002年
- 『ライカ同盟 パリ開放』アルファベータ、2001年
- 『地名論』毎日コミュニケーションズ、2000年
- 『日本の写真家 35 高梨豊』岩波書店、1998年
- 『初國』平凡社、1993年
- 『面目躍如 人物写真クロニクル 1964～1989』平凡社、1990年
- 『都の貌』IPC、1989年
- 『東京人 1978-1983』書肆山田、1983年
- 『現代日本写真全集 4 日本の心 新おくのほそ道』集英社、1982年
- 『人像』（エクリチュール叢書 5）深夜叢書社、1979年
- 『都市は夢みず』書肆山田、1979年
- 『町』朝日新聞社、1977年
- 『都市へ』イザラ書房、1974年（付録別冊：『東京人ノート』）

作品集（共同作品）

- 『ライカ同盟 東京澗井戸鏡』アルファベータ、2004年

『photographers' gallery File2 我らの獲物は一滴の光』 photographers' gallery、2003 年

『ライカ同盟 パリ開放』 アルファベータ、2001 年

『ライカ同盟 NAGOYA 大写撃!』 風媒社、1996 年

『都市は夢見ず』 書肆山田、1979 年

著書

『ライカな眼』 毎日コミュニケーションズ、2002 年

『われらの獲物は一滴の光』 蒼洋社、1987 年

パブリック・コレクション

Albentina (ウィーン、オーストリア)

シカゴ美術館 (シカゴ、イリイノ州、アメリカ)

日本大学芸術学部 (東京)

サンフランシスコ近代美術館 (サンフランシスコ、カリフォルニア州、アメリカ)

Tate Modern (ロンドン、イギリス)

東京国立近代美術館 (東京)

東京都写真美術館 (東京)

東京造形大学附属図書館 (東京)

山口県立美術館 (山口)

受賞歴

2012 第 31 回土門拳賞受賞 『IN'』

1993 第 43 回日本写真協会賞年度賞 『初國』

第 9 回東川賞国内作家賞 『初國』 (および一連の東京シリーズ)

1991 第 3 回写真の会賞 『面目躍如』

1985 第 34 回日本写真協会賞年度賞 『東京人 1978-1983』

1967 第 5 回パリ国際青年ビエンナーレ写真部門最高賞

1964 第 8 回日本写真批評家協会新人賞 『カメラ毎日』 連載「オツカレサマ」